

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	1370448
園名	聖パトリック幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

英語遊び

<テーマの設定理由>

ネイティブの先生と英語で会話をしながら、他の国の人の生活や考え方、価値観を学べるように設定しました。

2. 活動スケジュール

6月	挨拶、天気、色、形、食べ物
7月	自然、曜日、衛生、
8月	野菜、カレー、食器、
10月	家族、食べる、飲む、お手伝い
11月	大きい、小さい、恐竜、ハロウィン
12月	クリスマス
1月	ピクニック
2月	体の部位
3月	数字、時計

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

各テーマに沿ったカード、絵本。

歌やダンスを楽しむための CD と CD デッキ。

環境は、ゲームをみんなで楽しめるようにサークルにした。

先生：「What do you like?」

子ども：「I like pink」

子ども：「I like red」

次は先生が色つきのカードを床に置いて、先生が言った色のカードのところにみんなが集まるゲームをした。わからない子どもには、友達が日本語で〇〇色だよ！と教えていた。

正解すると先生とハイタッチ。



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

英語でネイティブの先生と話すのはほとんどの子が体験が少ない。よって、みんなが楽しめていた。先生のリズムの良い授業に、子ども達がひきつけられていた。新しい言語に触れるのに、リズムとわくわく感が大切なのだと感じた。子どもたちは英語を教えてもらっている感覚ではなく、楽しくゲームや遊びをしているように見えた。楽しいことは自然と身に着くのだと思った。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	1370448
園名	聖パトリック幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

体育遊び

<テーマの設定理由>

子どもたちが体を動かすことを楽しみ、それが身体機能の向上につながるようにと考えた。

2. 活動スケジュール

6月	—跳び箱—遠くにジャンプ、馬乗り、開脚跳び
7月	—跳び箱—横の開脚跳び、縦の開脚跳び
9月	—鉄棒—前回り、足抜き回り、ぶら下がり、逆立ち降り
10月	—縄跳び—結び目づくり、縄回し、まわしてまたぐ。
11月	—平均台—バランスをとる、歩く、ボールを受け取る、
1月	—マット—横になってゴロゴロ、前回り、後ろ回り
2月	—跳び箱—馬乗りジャンプ、踏切り練習、高い跳び箱をとぶ、遠い跳び箱をとぶ、2段3段の台上前転

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

跳び箱、鉄棒、縄跳び、平均台、マット。ボール。

環境は広いホール。

先生：「平均台にのって、はい右足あげて！両手も上げて！」

子ども：「怖いよ、ぐらぐらしちゃう」

子ども：「お相撲さんのポーズをしてみようよ」

子ども：「もっともっと強そうにできるよ」

子ども：「本当にお相撲してみようか」

子ども：「無理だよ」

先生：「園庭でお相撲してみましようか」



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

平均台は歩くだけでなく、上でも色々な運動ができるのだと気づいた。

それは大人が提案するのではなく、平均台の上の安定していない場所にいる子どもたちが様々な動きを思いつくのだと気づきました。

そして、怖いのではなくて、その不安定さを楽しめるのだと気づきました。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	1370448
園名	聖パトリック幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

野菜や球根を育てる

<テーマの設定理由>

季節の花を育てて季節を感じたり、自分で育てた野菜を収穫して食べる喜びを味わえるようにと考えた。

2. 活動スケジュール

11月初旬	ラディッシュの種をまく
12月	ラディッシュを収穫して食べる
12月	ちゅうりっぷ,ムスカリ、カサブランカ、すいせんの球根を植える
3月下旬	ちゅうりっぷの花が咲く予定

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

植木鉢、土、種や球根を準備

先生：「今日はラディッシュの種をまきましょうね」

子ども：「ラディッシュって何？」

子ども：「赤いちっちなかぶだよ」

先生：「大きなかぶの絵本を読んだことがあるね」

子ども：「あるある」

子ども：「早く大きくなるといいね」

そんな声を聞きながら種まきをしました。

毎日水をあげて、大きく育ったラディッシュを収穫して食べました。



4. 振り返り

<振り返りによる気づき>

子ども達はラディッシュの種の小ささに驚いていました。

植物の種を初めてみた子もいました。自分で種をまくというのが、とても嬉しそうでした。

朝、登園すると毎朝必ず植木鉢の中をのぞきこんで「まだ芽が出ないね」

「芽が出てきたよ」「大きくなってきた」「もっともっと大きくなってきた」と

毎朝、ラディッシュの成長を楽しみにしていました。

子どもは植物のほんのわずかな成長もしっかりと気付いていました。

植物に水をあげ、成長を喜ぶことは生命へ触れる事であり、収穫して食べることの喜び格別であることを知りました。